

すいた市民しんぶん スポーツ施設版

吹田市のスポーツ施設は「市民の財産」

みなさんと力を合わせ **守り、発展** させたいのです



Q 「公共施設も民間企業で」最近の傾向ですが、吹田市のスポーツ施設が民間企業の経営にされたら？

「子どもたちや市民の健康・スポーツよりも『営利優先』では、やっぱり心配です」

健康・生活習慣病の改善・子どもたちにもっとスポーツを、市民みんなの願いです。そしてスポーツの出番です。しかし、今、スポーツを「もうけのねた」にする制度改善がねらわれています。こうした改善を先取りした東京都ではプール利用料が450円から600円に値上げ、学校教育活動などのための減額制度も一部廃止に。

企業ベースではもうけが優先
現役引退後(67歳)、ライフスタイルのひとつとして、高齢者スポーツ教室(北千里・山田体育館)に参加し、健康の自己管理に注意するようになりました。スポンジテニスで20人のグループができ、週1~2回ダブルスに家内と参加、楽しい汗を流しています。スポーツ施設が民間企業に移れば、何より、もうけの業績数値優先、企業ベースに、吹田市には早急に対処策を検討して欲しい。



(吹田市17区) 魚谷 士朗さん(72歳) 渥子さん(72歳)

「歩いて通える身近さ・使用料の安さ」
初心者にも親切な指導をしてくれる「J」

Q 吹田市のスポーツ施設のいいところってどこですか？

普段着で歩いて通えて、使用料も1回100円~200円です。体力や年齢にあわせ、専門の指導員による教室や各スポーツ種目指導員による教室も行われ好評です。「体力が付き、気持ちも積極的に」などの声とともに、子どもたちから高齢者まで利用者は年々増加しています。

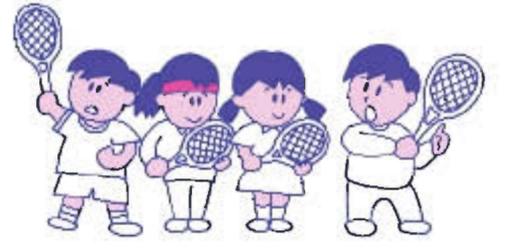
「生活に欠かせない」スポーツ活動
私たちは昭和47年、片山市民体育館オープンの翌年から教室に参加、その後、「クローバー」と称して自主活動を始めて約30年が過ぎます。こんなに続けられたのも、運動を通じての健康と、仲間のおかげです。現在はソフトバレーボールやダンス、ストレッチ体操等に取り組んでいます。メンバーの中には、転勤で吹田市を離れた後も続けておられる方もいます。



片山市民体育館OBサークル「クローバー」

We Love Sports 健康・スポーツの権利は憲法で保障されています

スポーツは「もうけ」の対象ではありません。市民だれもが「健康で文化的な生活」(憲法第25条)を送り、「幸福を追求」(憲法第13条)するために保障された市民の権利です。吹田市には、その実現のための責任があると考えます。



市民の気持ちを反映した心ある運営を
主婦になってから運動とは無縁でしたが、「体育館のエアロビクス行ってみない」との友人の誘いがきっかけでした。何年か楽しく通ううちに体力・体型・健康の改善はもちろんのこと、気持ちの面でも大きく変化していることに気づきました。「以前は何事にも消極的だった」というと、「うそやろ」と笑われます。運動のおかげで心身ともに成長させてもらいました。吹田に移って17年、吹田で本当によかったと思っています。体育施設、指導員の質の高さ等、吹田市のように充実したところはありません。民営化の推進はこうした価値ある市民の財産をだいなしにしてしまいます。決して施設を空虚な箱にしないでください。開敷とした状況ならまだしも、教室等の盛況ぶりは一目瞭然です。今後とも、市民の気持ちを反映した心ある運営をお願いいたします。

主婦になってから運動とは無縁でしたが、「体育館のエアロビクス行ってみない」との友人の誘いがきっかけでした。何年か楽しく通ううちに体力・体型・健康の改善はもちろんのこと、気持ちの面でも大きく変化していることに気づきました。「以前は何事にも消極的だった」というと、「うそやろ」と笑われます。運動のおかげで心身ともに成長させてもらいました。吹田に移って17年、吹田で本当によかったと思っています。体育施設、指導員の質の高さ等、吹田市のように充実したところはありません。民営化の推進はこうした価値ある市民の財産をだいなしにしてしまいます。決して施設を空虚な箱にしないでください。開敷とした状況ならまだしも、教室等の盛況ぶりは一目瞭然です。今後とも、市民の気持ちを反映した心ある運営をお願いいたします。



私たちは提案します

- 地域スポーツネットワークづくりを
- 子どもたちの健康・運動能力の向上のため学校体育やクラブ活動と協力し、地域のスポーツネットワークづくりを
- 施設まで足を運ばない市民もスポーツを、地域と協力した指導員の出前教室の拡充を
- スポーツ施設の営利目的化を許さない
- 利益優先の施設運営では市民の健康や安全は守れません。「指定管理者制度」などによる民間企業への売りわたしが許せません

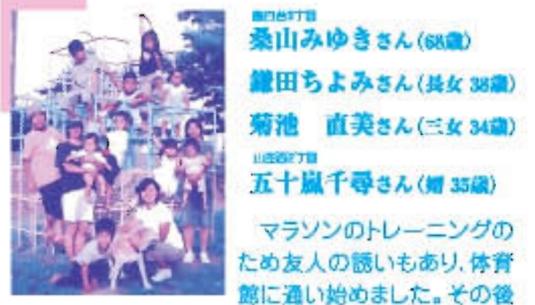
この市民しんぶんについてのご意見や吹田市のスポーツ施設についてのご意見をおきかせください。

夏場の暑さ対策・教室やスタッフの充実をさらに安心して利用できるよう

「民間だより」、吹田市は何を?
山田市民体育館 浜田 弘さん(73歳)

スポーツには興味がなかったが、60歳を過ぎ体力の衰えを感じ教室に通うことに。70歳を機に西国三十三カ寺めぐりに参加、急坂道や長い石段に挑戦できたのも体育館のおかげです。糖尿・高血圧・高脂血症で通院していますが、悪化しないのは教室参加と食事制限の効果です。「民間でできることは民間で」は耳障りはよいが、では吹田市はいったい何を?

ファミリーで、いい汗かいています



(吹田市17区) 桑山みゆきさん(68歳) 鎌田ちよみさん(長女 38歳) 菊池 直美さん(三女 34歳) (吹田市17区) 五十嵐千尋さん(婿 35歳)

マラソンのトレーニングのため友人の誘いもあり、体育館に通い始めました。その後長女や次女も参加し、クライミングに興味のあった婿も含めファミリーで楽しんでいます。健康や一日の生活リズムに気を使うようになり、体調が良好になりました。小さい子どもでも安心して連れて行け、一緒に汗をかいています。民間スポーツ施設では、子ども同伴というわけには行きません。

高まるスポーツ要求に応えるために

- 身近で安全・快適なスポーツ施設を
- 市内どこに住んでも徒歩で通える現在の施設配置を存続すること
 - サッカーなど屋外競技が開催できる施設の拡充を
 - 老朽化した施設の改修やトレーニングマシンの更新、夏季にも利用しやすい空調設備、周辺駐車場の整備を
 - 低廉な使用料や利用時間の拡大などにさらに利用しやすい運営を
- 気軽に楽しく参加できる事業を
- 専門の指導員を増員し、子どもからお年寄りまでライフスタイルと体力に応じた教室のいっそうの充実を

心配!! 子どもの体力
今の子どもたちは、親の世代より体格は向上していますが、体力は低下しているといわれています。原因は子どもを取り巻く生活環境の変化により、身体活動を伴う遊びの時間が少なくなっていることです。でも体育館に通う子どもたちは本当に元気です。子どもたちの体力を守るため、暑帯りの体育施設を利用し、できるだけ家族ぐるみで運動する機会をつくってください。
吹田市17区 廣藤 政宏さん

健康アドバイザー

運動が血糖値を下げる
適度な運動は、良好な血糖コントロールをもたらします。運動する時のエネルギー源になるのがブドウ糖です。例えば、ウォーキングなどの運動を開始すると、はじめの10分間くらいは筋肉に蓄えられていたグリコーゲンという物質がブドウ糖に分解されて使われます。10分を超えて歩き続けると、筋肉に蓄えられていた分だけでは足りなくなり血液中のブドウ糖(血糖)も利用され、血糖値が下がります。
山田市民体育館OBサークル 井上 馨さん



体育館兼選手館



武道館「洗心館」



体育館トレーニング

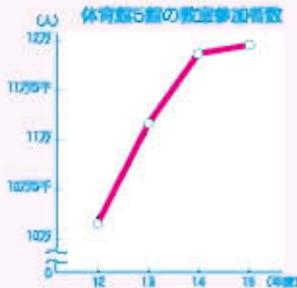
市民のスポーツ要求にこたえて—多彩な展開

子どもから高齢者まで安心して 主催教室

専門職の指導員による各種スポーツ教室を幅広い年齢層を対象として開催しています。運動の楽しさ、正しい身体の動き、その必要性などを指導助言しています。

(主催教室内容)

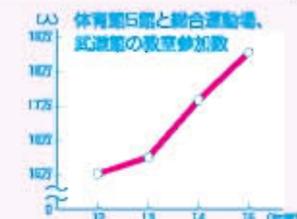
高齢者スポーツ/親子体操/幼児体操/子ども体操/リフレッシュ体操/クライミング/ストレッチ&ダンベル/健康ストレッチ/等



スポーツ競技力の向上めざし 共催教室

共催教室開催団体と教育委員会との共催で、年4期制のスポーツ教室を行っています。各教室の指導員が教室を進め、子どもから大人まで多くの方が参加されています。

教室の種目も屋内・外競技・武道等、多彩で会場も市内各施設で開催されています。



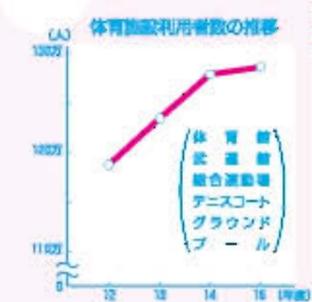
出張指導やスポーツ講座も開催

施設での指導に加え、PTAや高齢クラブ、育児サークルなどからの依頼を受け、地域へ出張しての指導を行っています。また腰痛・障害予防・体力づくりなどのテーマで保健センターなど他の行政機関ともタイアップしています。

健康・スポーツに対する関心の高まりに答え、多彩なテーマと講師陣で講演会「運動はええよ!」も開催しています。



増えているスポーツ施設と利用者数



改修・拡張に伴い施設の利用者数が増えています。

■体育館設置数と運用状況(近隣市との比較)
他市との比較では、その利用者数の多さで吹田市はさきわたっています。

市	設置数	利用者数(人)		スポーツ施設の運用状況
		平成15年度	平成15年度	
吹田市	5	887,423	館主権数33・共有館数28	
高槻市	1	177,530	市主権数38	
枚方市	2	288,858	館主権数24	
茨木市	3	258,281	館主権数5・共有館数はなし	

何のためにスポーツをするの?—第1位は「運動不足の解消」(体育館利用のみなさんにお聞きしました)

体育館利用のみなさん、約300人から意見をいただきました。運動不足から来る生活習慣病やウエイトオーバーをなんとかしたい、自宅や職場から近く、使用料(参加料)が安いこと。そして健康面での変化が実感できること。そんな利用のきっかけが浮かびます。

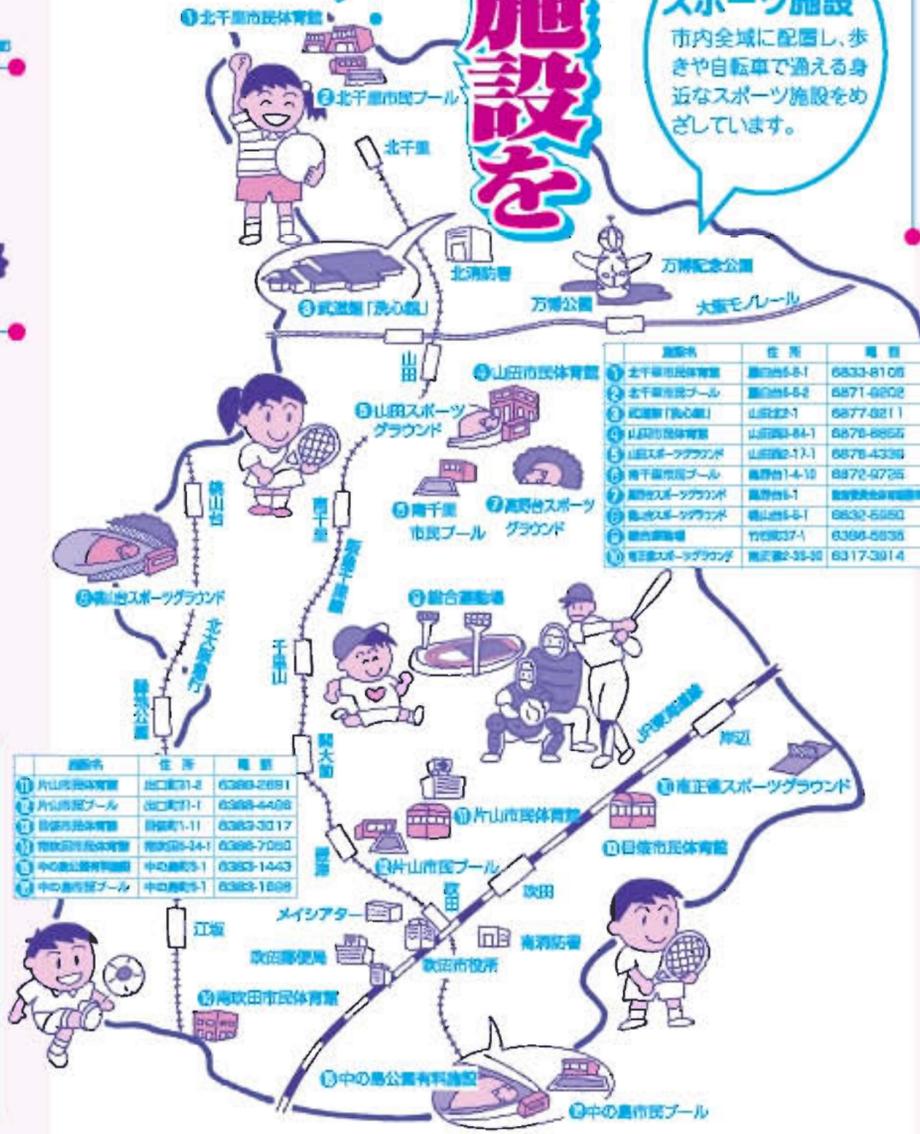


健康 体力向上 若々しさ

あたりまえのこと。そこへ、大切にしたいこと

だれでも安心して利用できるスポーツ施設を

吹田のスポーツ施設
市内全域に配置し、歩きや自転車で通える身近なスポーツ施設をめざしています。



施設名	住所	電話
北千代市民体育館	東区北千代5-1	6833-8105
北千代市民プール	東区北千代5-2	6871-8202
武道館「洗心館」	北区北千代2-1	6877-8211
山田市民体育館	山田区山田4-1	6878-8855
山田スポーツグラウンド	山田区山田11-1	6878-4336
南千代市民体育館	南千代区南千代1-4-10	6872-8726
高槻台スポーツ市民プール	高槻台5-1	6892-8888
総合運動場	北区北千代5-1	6832-8582
万博記念公園	北区北千代5-1	6386-8836
大塚市民体育館	東区北千代2-35-50	6817-3814

施設名	住所	電話
山田市民体育館	山田区山田1-2	6388-2881
山田市民プール	山田区山田1-1	6388-4488
南千代市民体育館	南千代区南千代1-11	6383-3317
高槻台市民体育館	高槻台3-14	6386-7050
中之島市民体育館	北区北千代5-1	6383-1443
中之島市民プール	北区北千代5-1	6383-1809

スポーツ施設—企業経営で市民の要求にこたえられるの?

「指定管理者制度」で営利目的に

●「指定管理者制度」とは?
無料・手軽な料金で公正に運営されるべき施設が
市民体育館をはじめとする吹田市の各スポーツ施設やその他の各種公共施設は、住民が無料または手軽な料金、公正なルールで利用できるように、管理運営できる団体は、市役所等に限定されていました。

民間企業が利用許可・料金の決定まで
ところが、一昨年の法「改正」で、管理運営する団体の制限がなくなり、株式会社などの民間企業も管理運営ができるようになりました。「指定管理者制度」という新しい制度によって、施設の利用許可や、料金を設定する権限まで管理運営する企業・団体に丸投げされるおそれがあります。

健康や安全など市民利用者サービスよりも、企業の利益やもうけが優先、JR福知山線脱線事故のこの製になる懸念もあります。



「指定管理者制度」と吹田市のスポーツ施設 ここが心配・5つの不安

- 1 体育施設が遠のく「もうけ」なければ閉鎖**
いまは各スポーツ施設が、市内全域に配置され、市民だれもが身近でスポーツを行えます。しかし「指定管理者制度」ではもうからない施設は切り捨てられます。
- 2 高額な利用料にスポーツは負担できる人だけ**
使用料は個人使用であれば2~3時間で100~200円、野球場でも1000円です。また高齢者や障害者の方への減免制度などもあります。しかし「指定管理者制度」では「もうけ」のため利用料の値上げは現実です。
- 3 市民の要望が届かない営業方針が優先**
いまは、市民のスポーツ施設に対する声や要望がストレートに行政や議会に届きます。その結果予算などの制約はあるものの、施設や設備・事業内容が改善されてきました。しかし「指定管理者制度」では市民や利用者の声も、「もうけ」の範囲でしか反映されません。
- 4 フィットネスクラブか貸し館にやりのメニューに限定**
初心者から経験者まで適切なスポーツプログラムを提供する上で専門的知識や技術を持った指導員の存在が欠かせません。しかし「指定管理者制度」では、集客可能な流行のメニュー(例えばフィットネスクラブ)の提供に限られます。その指導者と利用者との継続的コミュニケーションも難しくなります。
- 5 各種目スポーツ教室(共催教室)への懸念**
各種目スポーツ教室(共催教室)は手軽な参加料で多くの市民が参加しています。しかし施設が「もうけ」を優先した場合、現状の共催教室を維持できるかが懸念されます。各体育団体の施設利用や、市長杯大会をはじめとする各種大会への影響も心配です。